



オンラインデータロガー 初期設定ガイド

-ユーザー登録	p2
-ライセンスの購入方法	p3
-ロガーの接続方法 ～ PDFで設定～	p4～p5
-ロガーの接続方法 ～testo Smart アプリで設定～	p6～p8
-ロガーの接続方法 ～ホットスポットモードで設定～	p9～p10
-ロガーの接続確認	p11～p12
-ロガーの設定方法	p13～p14
-ロガーの紐づけ解除方法	p15

オンラインデータロガー 初期設定ガイド



ユーザー登録

step 1

www.smartconnect.testo.com

にアクセスし、「サインアップ」をクリックしてください。

「メールアドレス」「パスワード」「国」を入力・選択し、「利用規約」「プライバシーポリシー」を確認後チェックボックスにチェックを入れ「続ける」をクリックします。

step 2

Testoよりアカウント登録のメールが届きます。

メール内の「アカウント有効化」リンクをクリックして、アカウントを有効化します。

これによりアカウント登録が完了します。

Testo SE & Co. KGaA <no-reply@auth.saveris.net>
宛先: Demo (JPN, YOK) 2025-11-27 (木) 13:53



ご登録ありがとうございます。

demo@testo.co.jpのメールアドレスに対して、登録が（2025年11月27日 13:53）リクエストされました。アカウントを有効化し、メールアドレスを確認するには、「アカウントの有効化」をクリックしてください。

アカウントの有効化

ボタンが機能しない場合は、以下のリンクをご利用ください:

<https://testo.eu.auth0.com/u/email-verification?ticket=nadDaFKbhBR5ACMz5HZbM29ALuG7BMEb#>

確認が取れ次第、メールアドレスdemo@testo.co.jpがTestoアカウントとして有効になります。

Testoアカウントに登録していない場合は、このメールを無視してください。お客様のデータは、72時間後に自動的に削除されます。

ライセンスの購入方法

step 1

⚠ お支払方法は、クレジットカードまたは請求書払い(請求書発行より30日以内支払い)となります。

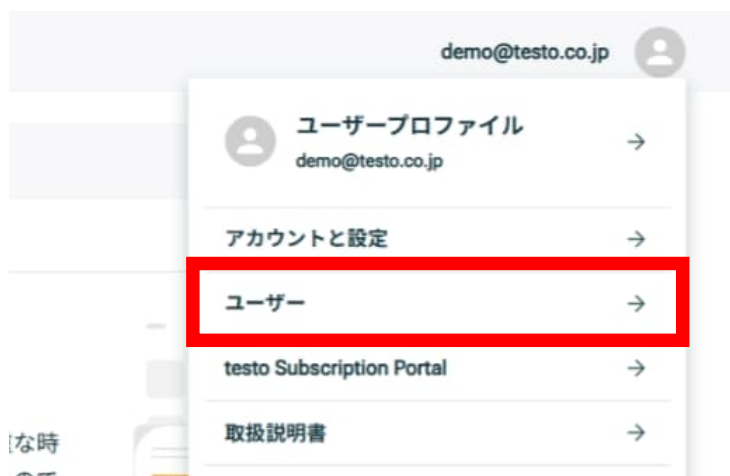
www.smartconnect.testo.com
にアクセスし登録したメールアドレス、パスワードでログインします。



step 2

ライセンスの購入を行います。
ログイン後、右上のメニューから「testo Subscription Portal」を選択し、クリックします。

「サブスクリプションを購入する。」というリンクをクリックします。決済画面にリンクします。



step3

月額プラン(クレジットカードのみ)/年間プランのいずれかを選択してライセンス数量を決定します。
※オプションのSMSアラーム (250通) を追加可能です。

プランとライセンス数量が決定したら「申し込む」をクリックします。

次の画面で必要な情報を入力して申し込みが完了します。



オンラインデータロガー 初期設定ガイド

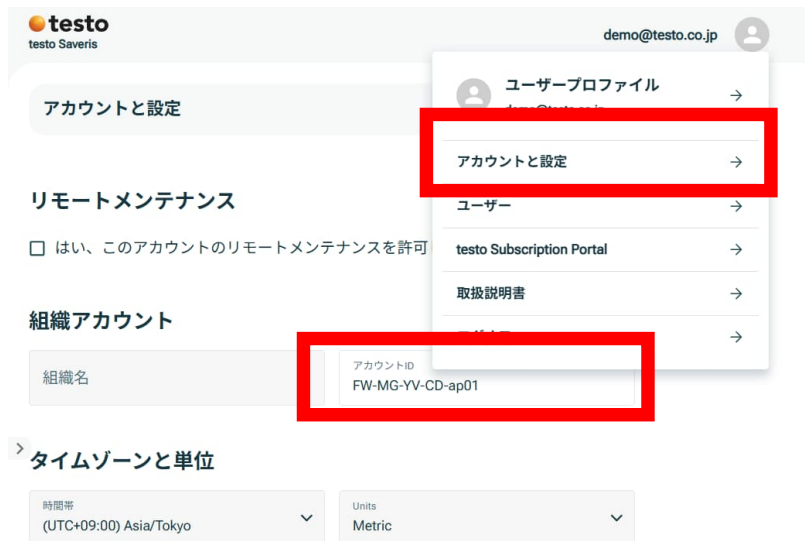


ロガーの接続方法 ～PDFで設定～

対象機種： 全機種

step 1

ログイン後、右上のアイコンをクリック→「アカウントの設定」をクリックします。
その後、表示されたアカウントIDをコピーします。
(例: FW-MG-YV-CD-ap01)



step 2

ロガー/GatewayをUSBケーブルでPC(windowsのみ)に接続します。
接続後、まもなくリムーバブルディスクとして認識されます。
ストレージ内にある

NetConf(.pdf) または
WifiConf(.pdf) というファイルを
Adobe Readerで開きます。

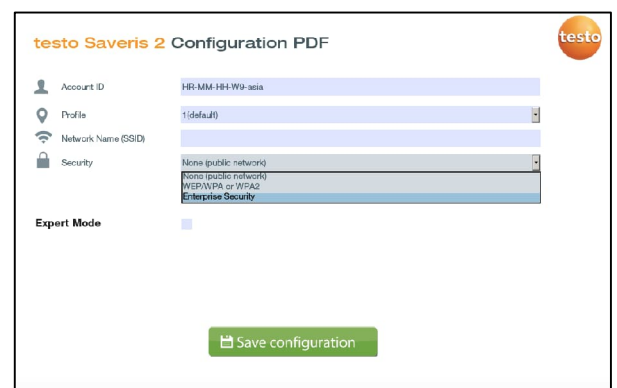
⚠ testo 162 T2 はプローブを挿入した状態で設定を行ってください。



step 3

PDFを開いたら、下記フィールドに必要な情報を入力/選択していきます。

- Account ID→Step 1 でコピーしたアカウントID
- Network Name (SSID)
→接続するアクセスポイントのSSID
- Security
→None、WEP/WPA or WPA2、Enterprise Securityから選択
- Password→アクセスポイントのパスワード



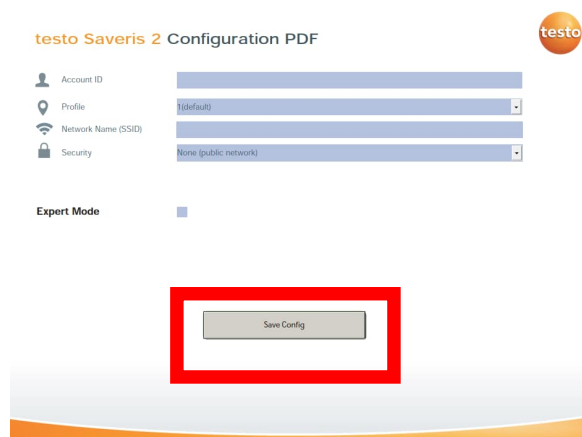
オンラインデータロガー 初期設定ガイド



step 4

必要な情報が入力できたら、PDF中の緑のボタンの[Save config]をクリックします。

⚠ testo 164 Gateway Ethernetは、有線LANケーブルを使用するので、Wi-Fiアクセスポイントの設定は不要です。



step 5

⚠ ポップアップが出現したら
ファイル名を変えずに、リムーバブルディスク名の[SAVERIS]、[testo 160]、[GATEWAY]のいずれかのストレージ内に保存します。

複数のロガーを同時に設定する場合は、保存先をデスクトップ等、ローカルフォルダに一度保存し、それぞれのロガーのストレージにコピー&ペーストを行うと効率よく設定ができます。



step 6

設定ファイルを読み込んだ後の挙動は11～12ページのstep 8 を参照ください。

オンラインデータロガー 初期設定ガイド



ロガーの接続方法

～testo Smart アプリで設定～

*対応OS: Android/iOS

対象機種：testo 162シリーズ、testo 160T

step 1

スマートフォン/タブレットから、「testo Smart」アプリを起動して、2ページで登録したアカウントでログインしてください。



testo Smart



↑ダウンロード

step 2

アプリケーション一覧が表示されるので「Monitoring」を選択、その後、サービスセンター画面にて「コミッショニング」を選択します。

※ログインを促す画面が表示された場合は、画面指示に従いtestoアカウントにてログインをお願いいたします。



step 3

コミッショニング操作画面が表示されたら、162/160T本体のボタンを1回短押し(約1秒程度)押下します。

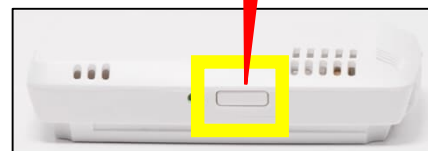


testo 162シリーズ



短押し (約1秒)

testo 160T



オンラインデータロガー 初期設定ガイド



step 4

ロガーのLEDが緑色に1秒間隔で点滅し始めます。ディスプレイ付きの機種であれば[conf.]という文字が表示されます。



step 5

コミッショニング画面にて「自動接続」を選択します。接続待機画面が表示された後、ロガーへの接続確認画面が表示されるので「接続」を選択、ロガーの接続が完了するまでお待ちください。



step 6

接続資格情報画面が表示されます。

- SSID
→ 接続するアクセスポイントのSSID
- パスワード
→ アクセスポイントのパスワード

以上を入力し、「接続」を選択してください。



←SSID

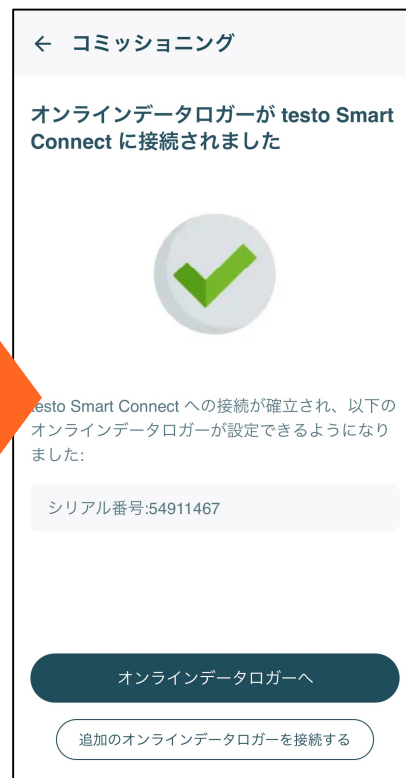
←パスワード

オンラインデータロガー 初期設定ガイド



step 7

ネットワーク接続が完了するまで、しばらくお待ちください。



※完了時、testo Smart Connectに接続できない旨のエラーが表示される場合があります。

testo Smart Connect
(www.smartconnect.testo.com)
にアクセスし、ロガーが正常に登録できていることを確認してください。

設定データを読み込んだ後の挙動は11～12ページの **Step 8** を参照ください。



オンラインデータロガー 初期設定ガイド



ロガーの接続方法

～ホットスポットモードで設定～

対象機種：testo 160シリーズ (160Tを除く)
Saveris 2シリーズ

*旧Saveris 2 (型番: 0572 200X)は非対応

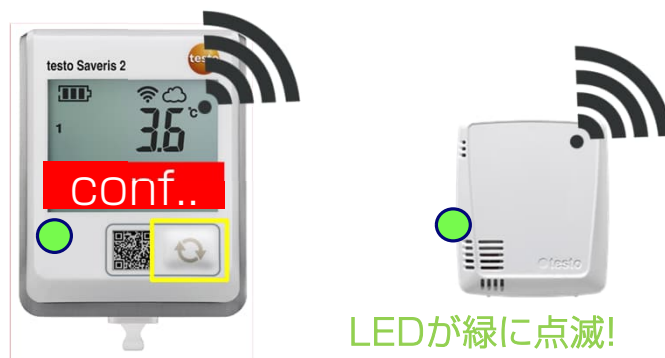
step1

写真右のボタンを3秒以上(5秒未満程度)長押しして離すとロガー本体からWi-Fiの電波(2.4GHz)が発せられ、アクセスポイント化します。



step2

ロガーのLEDが緑色に1秒間隔で点滅し始めます。ディスプレイ付きの機種であれば[conf.]という文字が表示されます。



step3

モバイル端末等のWi-Fi設定から、[Saveris 2 (またはtesto 160) SN: xxxxxxxxx]というSSIDが見つかるので、接続してください。

接続が完了したらモバイル端末画面上に接続完了のマークが出現します。



オンラインデータロガー 初期設定ガイド



step4

接続完了後ブラウザアプリを立ち上げURL欄に
[192.168.1.1]と入力しOKをタップします。

すると、ロガーに直接設定できる画面が現れます。

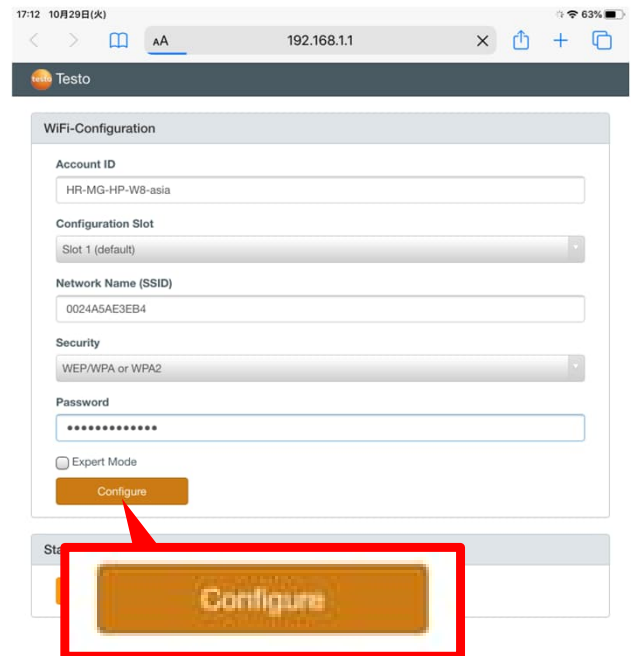


step5

設定画面が開いたら下記入力フィールドに必要な
情報を入力していきます。

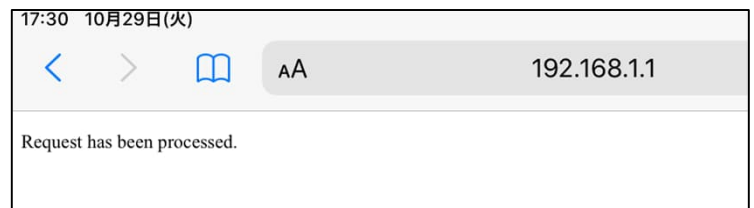
- Account ID
→4ページのStep1で確認できるアカウントID
- Network Name (SSID)
→接続するアクセスポイントのSSID
- Security
→None、WEP/WPA or WPA2、Enterprise
Securityから選択
- Password→アクセスポイントのパスワード

最後に[Configure]をタップすると設定情報が
ロガーに送信されます。



step6

設定が送信されるとブラウザ上には
[Request has been processed]
と表示されます。



step7

設定データを読み込んだ後の挙動は11～12ページの **Step 8** を参照ください。

オンラインデータロガー 初期設定ガイド



step 8-1 testo 162 / Saveris 2 の場合

ロガーの画面に電波マークと雲マークが点滅してから、点灯にかかります。「正常」を選択して完了です。

雲マークが出ない場合は下記の様なエラーコードが出ます。エラーの種類によって再度無線LANの設定やセキュリティ設定変更が必要となるケースがあります。



よくあるエラー

E-26: Wi-Fiアクセスポイントとの接続ができない

→ SSID/passwordの文字を再確認ください。DHCPの場合はIP数が足りているかを確認

step 8-2 testo 160 の場合

USBケーブルを抜くとロガーの左側面のLEDライトが緑色に長く点灯します。



- 点灯が消え、設定ファイルが正しく読み込まれている場合、USB抜去後LEDが緑色に1回長く点灯します。

※詳しくはWebサイトFAQのLEDステータス表を参照してください。

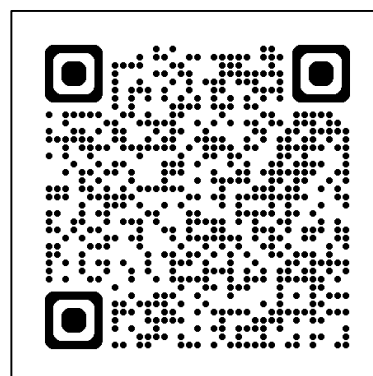
- 設定ファイルが正しく無いor電池がない場合はUSB抜去後LEDが赤色に点灯します。

URL:
<https://www.testo.com/ja-JP/products/16x-faq>

- クラウドとの接続が確立した場合
→暫くしてから1回短く緑LEDが点灯し、すぐに緑LEDが2回点滅

- クラウドとの接続に失敗した場合
→約20秒後に赤LEDが2回点滅

LEDが2回赤色に点滅した場合、再度無線LANの設定をし直して下さい。SSIDかパスワードに誤記がある可能性があります。



オンラインデータロガー 初期設定ガイド



step 8-3 testo 164 Gateway の場合

設定ファイル保存後、USBケーブルを抜去します。

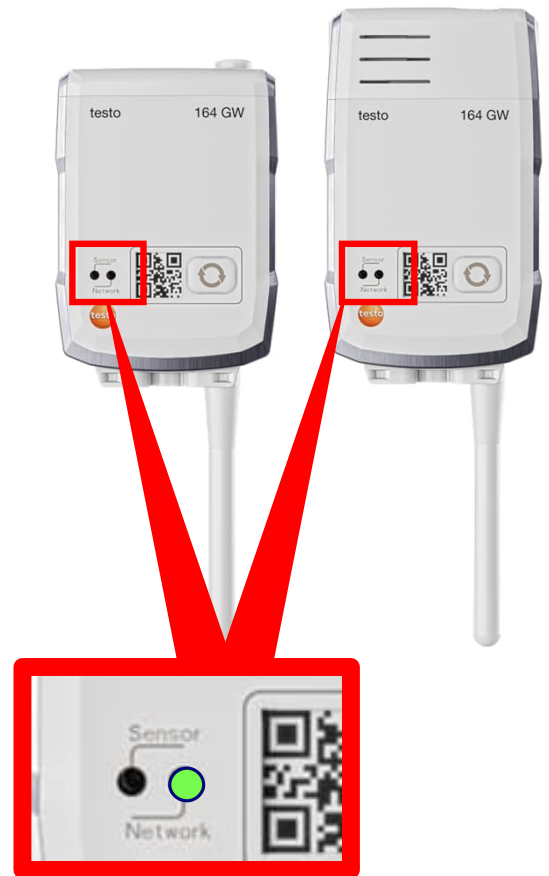
設定ファイルが正しく読み込まれている場合
Gatewayの右側「Network」LEDライトが**緑色**
に1秒単位で点滅し始めます。

設定ファイルが正しく無い場合、USB抜去後
LEDが**赤色**にすばやく点滅します。

- クラウドとの接続が確立した場合
→ 暫くしてから2回短く**緑**LEDが点滅し、長駆後に**緑**LEDが継続点灯

- クラウドとの接続に失敗した場合
→ 接続試行後に**赤**LEDが1秒ごとに点滅

LEDが1秒毎に**赤色**に点滅した場合、再度無線LANの設定をし直して下さい。アカウント、SSID、パスワードに誤記がある可能性があります。



step 9 testo 164 Gateway とデータロガーの接続

💡 testo 164 Gatewayがクラウドに接続完了していることが前提条件です。

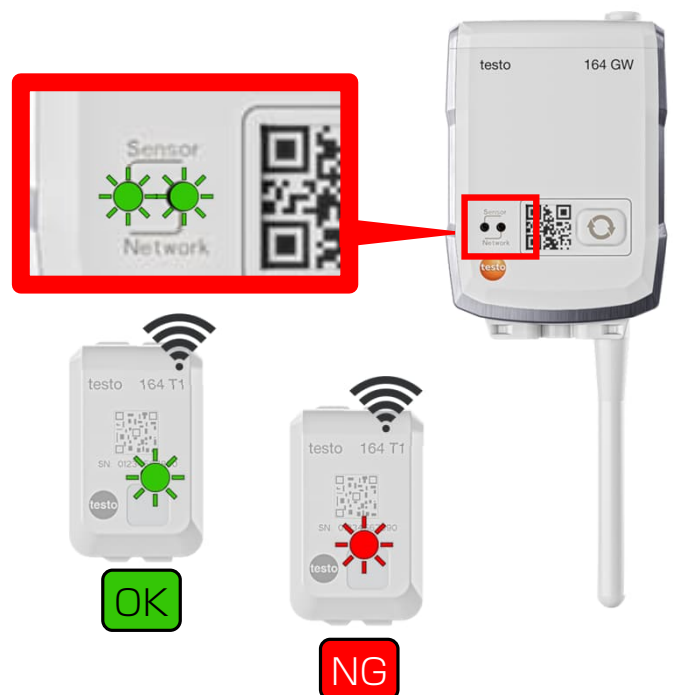
▽ Gateway側の操作
ボタンを短押しします。「Sensor」LEDが**緑色**に3分間点灯します。
→ Gatewayがペアリングモードに入ります。

▽ データロガー側の操作
ボタンを短押しします。
→ ロガーがペアリングモードに入ります。

90秒間**緑色**LEDが1秒間隔で点滅します。

- ペアリング成功 → **緑色**で2秒間点灯
- ペアリング失敗 → **赤色**で2秒間点灯

※失敗した場合は通信状態が良い場所で再ペアリングをお試しください。



ロガーの設定方法

step 1

クラウドとの接続が確立しているロガーが「オンラインデータロガー」の画面に接続したロガーが表示されます。

設定希望のロガーが全て表示されていることを確認してください。

右側の「未設定」をクリックして設定を行っていきます。



step 2

データロガーの名称「測定点*」を決定します。*分析画面表示される名前です。

任意の値を入力して「次へ」をクリックしてください。



step 3

測定設定では、
・測定間隔
・アラームしきい値
をプロファイルとして設定できます。

2台目以降、同じ測定間隔、アラームを適用される場合は、既存のプロファイルを選択します。



オンラインデータロガー 初期設定ガイド



step 4

新規でプロファイルを作成します。

それぞれの測定パラメータごとに、アラーム (メインアラーム)、警告値 (プレアラーム) を設定可能です。

測定間隔を設定します。デフォルトは15分です。

プロファイル名を設定して、「次へ」をクリックします。

例えば、同じ管理温度帯の冷蔵庫が複数あれば、このプロファイルをあとで設定するロガーに適用できます。

アラームとしきい値を追加しますか?

測定プロファイルの選択または新規作成 *
+ 新しい測定プロファイルを作成する

アラームとしきい値

温度



測定間隔 *
5分

測定プロファイル名 *
冷蔵庫 アラーム

step 5

通知設定では、しきい値逸脱等のアラームの受信設定が可能です。

- Eメール
- SMS (別途有料オプションです)
- プッシュ (プッシュ通知です。testo Smart アプリにアカウントログイン時に有効になります。)

⚠ 複数設定する場合は、最後に設定した内容が上書きされます。「通知の設定 > 通知グループ」で後で設定変更もできます。

アラーム通知の受信を希望しますか?

- ☒ はい
☐ いいえ

受信者の詳細

通知タイプ *
Eメール, SMS, プッシュ

- ☒ Eメール
☒ SMS
☒ プッシュ

データロガーの設定

これで、オンラインデータロガー-0572 2201 04_56055128が完全に設定されました。この設定には以下が含まれます。:

- 測定点の設定
- この測定点へのデータロガーの割り当て
- 通知ルールを含む測定プロファイルの定義 (アラームしきい値)

注: 設定は、オンラインデータロガーが testo Saveris と通信を確立した後にのみ有効になります。

すぐに通信を開始するには、オンラインデータロガーのボタンを押してください。



step 6

これで設定が完了です。

「データモニタリング > データ分析」画面で設定したデータロガーのデータを確認してください。

※複数のデータロガーを設定する場合は step 1 から繰り返してください。

戻る 終了して閉じる

ロガー紐づけ解除方法

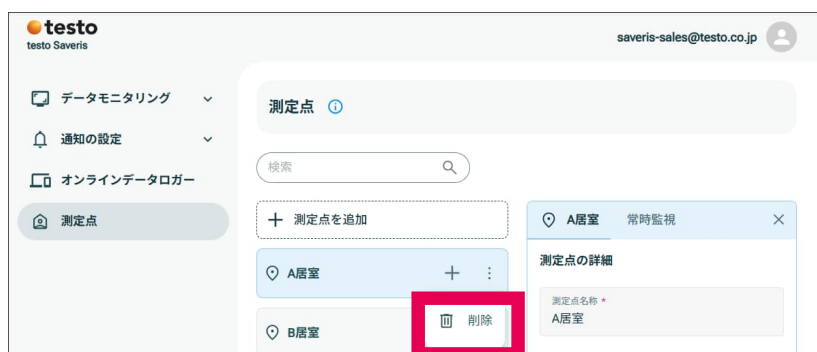
step 1

以下の手順で、データロガーとクラウドの紐づけ解除をおこなってください。

step 2

「測定点」メニューに移動します。
作成した測定点を削除します。
「⋮」をクリックし「削除」を行ってください。(必要に応じてブラウザを更新してください)

※ 測定点がない場合は [Step 3](#) へスキップ



step 3

「オンラインデータロガー」メニューに移動します。対象のデータロガーの右の「⋮」をクリックし「消去」を行ってください。



step 4

「データロガー」のボタンを短押すとデータロガーがクラウドと同期されリセット状態になります。

